

議 事 録

| | |
|-----------|---|
| 年 月 日 | 令和2年8月5日(水)午後7時から午後8時 10 分まで |
| 場 所 | 保健福祉センター 研修室 |
| 会 議 の 名 称 | 令和2年度第1回島田市健康づくり推進協議会 |
| 出 席 者 | 別紙1のとおり |
| 要 旨 | <p>今年度は委員の改選があり、各団体から推薦のあった委員に委嘱状(辞令)を交付した。その後、要綱第5条第2項により会長は松永和彦委員、副会長は畑中純子委員が選出された。</p> <p>【報告事項】 事務局が、第3次島田市健康増進計画の説明と計画の目標達成に向けた取り組みの報告を行った。 また、島田市の死亡統計によると、死亡原因のうちがんが1/4弱を占めており、その中に若い世代もいることや、がんの早期発見と進行後発見では生存率が大きく違うことを説明し、検診受診率向上の必要性を伝えた。</p> <p>【意見交換】 各委員から、各組織における健康増進に関する取り組みの報告や、がん検診の受診率向上に関する取り組みの提案がされた。</p> |

1 開会

2 委嘱状交付 事前に机上に配布した。

3 部長挨拶

4 島田市健康づくり推進協議会について **資料1** 宮地課長

島田市健康づくり推進協議会要綱に基づき、目的・所掌事務・部会を説明した。各部会の委員については、後日依頼をする。

5 会長・副会長の選任

事務局推薦により、会長に島田市医師会松永和彦委員が、副会長に静岡県立大学畑中純子委員が推薦され、承認が得られた。

※議長交代

6 報告事項

事務局が、第3次島田市健康増進計画の説明と、計画の目標達成に向けた取り組みの報告を行った。

また、島田市の死亡統計によると島田市の死亡原因のうちがんが1/4弱を占めており、その中に若い世代もいることや、がんの早期発見と進行後発見では生存率が大きく違うことを説明し、検診受診率向上の必要性を伝えた。

7 意見交換

各委員から、各組織における健康増進に関する取り組みの報告や、がん検診の受診率向上に関する取り組みの提案がされた。

松永(和)委員：島田市の自殺者の傾向はあるか。

事務局：市の特徴として、こども若者の自殺が多い。

・高木委員：新型コロナウイルスによる失業・外出自粛が自殺につながる可能性があり、こころのケアが必要である。

・小川委員：タレントが罹患したことにより、舌癌を心配する人が増えた。歯周病のケアをしている人はインフルエンザに良い影響があるとされており、私見では、歯周病のケアが新型コロナにもよい影響があると思う。

松永(敏)委員：健幸マイレージで、スマホの活用や検診受診者に多くのポイントをつけることにより、宣伝効果が上がるのではないか。

岩間委員：がん検診受診率の向上のために、ちらしの作成をしている。また、コール・リコールや、ナッジ理論(望ましい行動をとる後押しをする。)が効果的である。要精密検査者は必ず受診が必要である。受動喫煙予防の啓発が必要である。

西村委員：例年は保健委員が健康講座・受診率向上の取り組みを実施しているが、今年度はコロナの影響で、近所など身近な人への普及をしている。

大澤委員：食推協はコロナの影響で行事ができない。高校で食事の大切さの話をしたり、居場所で自分の歯で食べる大切さを啓発している。

今村委員：感染防止対策を施し、がん検診を実施している。10月18日にジャパンマンモグラフィーサンデーを開催する。日曜日にマンモグラフィーが受けられる。

中野委員：中学校の保健体育の授業で喫煙の影響やがん予防に関する教育を行っている。栄養バランスのとれた望ましい食習慣やこころを育てる食育を学校給食課で行っている。

畑委員：がんの早期発見・早期治療は効果がある。市議会で検診受診率向上の提言を受け、県対がん協会と共同でがん予防講演会を予定している。また、がん検診の開始時期を1ヶ月前倒しし、受診機会を増やしている。

・亀山委員：健康診断を実施する事業所への助成を行っている。健康経営に取り組んでいる。がん検診受診への特権を検討している。

・水野委員：地域ふれあい協議会は、高齢者の健康寿命の延伸や認知症予防に取り組んでいる。

・滝下委員：例年は学校保健委員会等でがん教育を実施している。新型コロナウイルス感染症予防に取り組んでいる。

・男城委員：人間ドック受診者に補助金を出し、腫瘍マーカーを勧めている。コロナ対策でズーム会議を実施している。

・園田委員：保健委員ががん検診のPRをしている。

・山田委員：教室は中止し、運動の動画配信をしている。

・畑中委員：受診率の向上のためには、年代や未受診理由の分析が必要である。今年度はコロナの影響を考慮する必要がある。

・松永委員：コロナ予防のために、公共の場でのマスクの着用が必要である。PCR検査センターを8月末に設置予定である。市内のコロナ陽性者の感染源は特定されている。

・事務局：市議会で、がん検診の受診率向上を重点的に推進するように言われている。本日いただいた意見を今後取り組みに役立てていく。

・岩間委員：新型コロナウイルス感染症の第2波が拡大している。感染経路は首都圏などの県外やカラオケなどである。新型コロナは発症前から感染力をもつため、対応が難しい。新型コロナに負けないためには、食事や運動により免疫力を高める必要がある。

8 事務局連絡 次回、第2回協議会を令和3年2月に予定。詳細は後日連絡。

9 閉会